

はくざんコミュニティ・スクールだより

1年間ありがとうございました

平成31年3月18日発行 第11号

今年度は、延べ570名以上のサポーターさんが本校のコミュニティ・スクール活動に参加してくださいました。サポーターの皆さんが新しくサポーターさんを勧誘したり、家庭のお祖父さん・お祖母さんの参加が増えたりして、活動がさらに広まった年でした。

わくわく学習部会

～サポーターさんと共に学び、共に楽しもう～

学校のさまざまな行事の折に、ファンタジーさんが読み聞かせをしてくれました。6年生を送る会では、「わすれられないおくりもの」（スーザン・バーレイ作）を全校生に読み聞かせ、卒業を目前にした6年生のクラスでは、武田さんがおすすめの本を紹介する「ブックトーク」をしました。4月から生活が一変する6年生にとって心安らぐ本や生き方の指標となる本があり、「読みたい本が見つかったので、ぜひ読んでみたいと思います。」と話している子どももいました。



2月8日から22日まで、はくみ運動スペシャルⅡを実施しました。家族と一緒に運動したり、遊んだりする取り組みも4回目となり、その様子を写真で紹介する家庭も増えてきました。新年度も継続して取り組んでいく予定です。今回の取り組みの一部を紹介します。

バドミントン



なわとび



お誕生日ケーキを手作り



家族といっしょに料理



たこあげ

すくすく健康部会

～サポーターさんと健やかな体づくりをしよう～

2月19日に、蓮井歯科医院の皆さんと学年主任が、今年度の「歯の健康を考える学習」を振り返りました。主な感想や意見を紹介します。
①「担任と歯科衛生士との事前の打合により、実験を交えた効果的な学習が行えた。」②「歯磨きで落としきれない汚れを落とすためのフロスの使い方を今後も教える。」③「子どもに合わせてワークシートの改善をしたい。」そして、蓮井先生は、「健康な歯、体づくりのために、今取り組んでいることを中学生にもつなげたい。」と話されました。





掲示ボランティアさんは、卒業する6年生の教室の飾りや音楽関係の掲示物を制作してくれました。また、ベルマークボランティアさんは、点数を数えて集計する作業を、あいさつ隊の皆さんは、毎日、子どもたちに温かい声をかけて登下校を見守ってくださっています。にこにこ生活部会では、そのようなサポーターさんとの活動の様子を子どもたちに絵で表してもらいました。

絵はポケットティッシュに入れて、三木町役場や各公民館に置き、本校のコミュニティ・スクール活動をより広く紹介する機会にしたいと考えています。



学校運営協議会

2月20日に第4回学校運営協議会が開かれ、香川大学より柳澤良明先生、三木町教育委員会より森正彦教育長が出席されました。会では、今年度の反省と来年度の計画について話し合われました。

- ・ 来年度のわくわく講座は、早い段階からPTAと連携し、子どもが講師になる講座も継続する。年2回のはぐくみ運動の実施と図書ボランティアやファンタジーの読み聞かせも継続して行う。
- ・ ふれあい遠足は、今年度が雨で中止になった反省から、来年度は予備日を設ける。ぴかぴか白山小は、子どもたち全員が参加して運動会に向けて運動場の草ぬきをする。
- ・ ベルマーク集計活動は、児童環境委員会を支援し、純正カートリッジの回収をさらに進める。
- ・ 今年度の防災キャンプは、涼しく自然豊かな奥山地区で実施できた。校歌にも登場する高仙山から望む景色は格別であった。来年度は、8/24、25に実施し、三木町社会福祉協議会も共に活動する。
- ・ 子どもたちが自律する力（＝必要なことを自分で考えて行動することができる力）をつけていくことが、コミュニティ・スクールの大きな目標の一つだ。
- ・ 学力向上はもとより、各種体験の場を意図的に設定し、それぞれの子どもたちのよさが認められる場にしていけることが大切である。
- ・ 次年度に向けて、さらに活動を精選し、質の向上を目指してほしい。

